



支笏洞爺国立公園における 登録の概要について

2 千歳市の資源・特性

千歳市には、多彩な人材や空港、自然、工業団地などの“資源”に基づく、多くの“特性”があり、これらを最大限に生かしたまちづくりを進める必要があります。

1. 位置・地勢



千歳市は、北海道の中南部、石狩平野の南端に位置し、札幌市や苫小牧市など4市4町に隣接しています。札幌市へは北へ40km、JR千歳線の快速電車で約30分と至近距離にあります。

また、千歳市は東西に長く、面積は594.5km²で東京23区とほぼ同じ面積となっており、市域の西部は、山岳地帯で支笏湖地域一帯は支笏洞爺国立公園に指定され、中央部の市街地には、住宅や商業施設、新千歳空港など都市機能が集中しており、東部は丘陵地帯で自然豊かな農業地帯となっています。

さらに、千歳市は道内でも降雪量が少なく、雪による被害が比較的少ないほか、平成30年(2018年)の北海道胆振東部地震でも道路や公共施設などに大きな被害はありませんでした。

【2.北海道の一大交通拠点】

新千歳空港は
国内線乗降客数



第2位 (令和元年度)

新千歳空港は、北は稚内、南は沖縄まで、国内の主要空港と結ばれており、国内線乗降客数は2,000万人を超え、羽田空港に次ぐ国内第2位となっています。

国際線は、アジアを中心に20都市以上と結ばれ、年間乗降客数は380万人を超えています。

都市間輸送を担うJR千歳線は、JR北海道の最大幹線となっており、道内主要都市へのアクセスに優れています。

また、道路については、高速道路2路線と国道6路線、道道14路線がネットワークを形成しています。さらに、鉄道及び道路で直結した苫小牧・室蘭には国際拠点港湾があり、北海道における「空・陸・海」をつなぐ一大交通拠点となっています。

【3.豊かな自然】

支笏湖は
湖沼水質測定結果



**全国
第1位 20回**



千歳市の西に位置し、市民の誇りである支笏湖は、その高い透明度から、環境省の湖沼水質測定結果で、これまで20回も全国1位に輝いています。

また、支笏湖の周辺には樽前山や風不死岳、恵庭岳などの山々が連なっているほか、北海道三大秘湖とも呼ばれるオコタンペ湖を有するなど、千歳市は自然の宝庫です。

さらに、東部には自然豊かな農業地帯が広がり、市街地中央部には、市民の憩いの場である青葉公園に加え、毎年サケが遡上する清流千歳川をはじめとする恵まれた水資源を有しており、千歳川支流の内別川は、市民の飲み水として貴重な水源となっており、環境省の名水百選^{※1}に選ばれています。

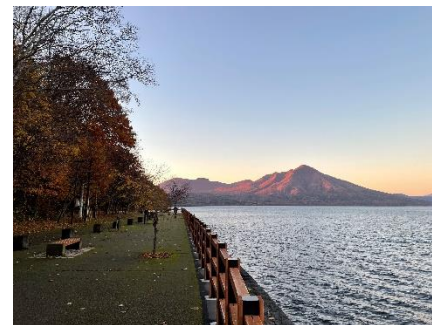


千歳市・支笏湖の取組（全国第6号）

※令和4年3月29日時点

1. 千歳市と支笏洞爺国立公園

- ✓ 支笏湖は北海道千歳市に位置し、日本北限の不凍湖としてその湖と森と火山の織り成す景観美が魅力。
- ✓ 空港から近く、支笏洞爺国立公園内でも特に利用者が多い。
- ✓ 令和4年2月7日に千歳市がゼロカーボンシティを表明。



2. ゼロカーボンパークに向けた地域の取組

①再生可能エネルギーの活用

- ・水力発電によって大部分の電力が賄われている支笏湖地域。
 - ・ゼロカーボンアクティビティ※商品の造成、ふるさと納税返礼品としての活用など、ブランド化に取り組んでいる。
- ※水力発電の電力を活用した電動自転車とカヌーを使って支笏湖から空港まで移動する。



②二次交通の脱炭素化

- ・ビジターセンターでの電動自転車の貸出しや、EV充電設備の設置等による地域全体での脱炭素化を推進。





千歳市・支笏湖の取組(全国第6号)

※令和4年3月29日時点

2. ゼロカーボンパークに向けた地域の取組

③ ゼロカーボン又は環境配慮型アクティビティの推進

- ・ゴミ拾いダイビング等の環境配慮型アクティビティを実施。
- ・電動船による湖面巡視等、支笏湖の管理やアクティビティにおいてもゼロカーボンを目指す。



④ サステナブルな観光地づくり

- ・除伐・伐採木、落葉等のバイオマスや物品製作での再利用。
- ・支笏湖を代表する「氷濤まつり」での※環境配慮の取り組み。
- ・ゼロカーボンパークの取組の道標となる「支笏湖スタイル」を設定、その認定基準や認定マークを創出。

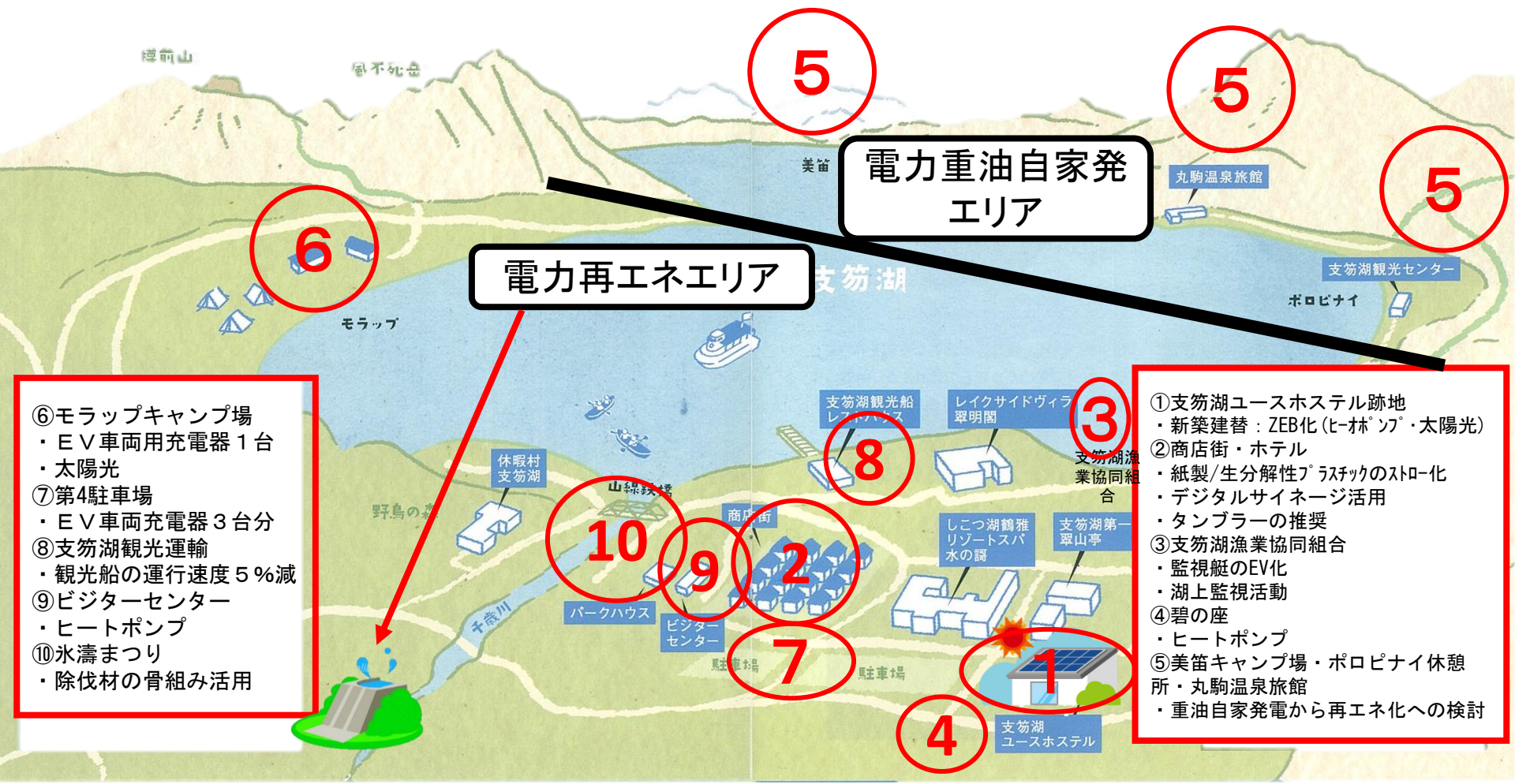


※人工物のまつり資材を除伐・伐採木等に転換、落ち葉を入場券に変える等し、ごみや紙使用を減らす。

3. 環境省における対応

- ✓ 現地の地方環境事務所の伴走支援や、直轄施設における太陽光パネル、EV充電設備、地中熱ヒートポンプの導入等により、地域の脱炭素化の取り組みを後押し。

支笏湖ゼロカーボンパークの現状



- ⑥モラップキャンプ場**
- ・EV車両用充電器 1 台
 - ・太陽光
- ⑦第4駐車場**
- ・EV車両充電器 3 台分
- ⑧支笏湖観光運輸**
- ・観光船の運行速度 5%減
- ⑨ビジターセンター**
- ・ヒートポンプ
- ⑩氷濤まつり**
- ・除伐材の骨組み活用

電力重油自家発電エリア

電力再エネエリア

- ①支笏湖ユースホステル跡地**
- ・新築建替：ZEB化（ヒートポンプ・太陽光）
- ②商店街・ホテル**
- ・紙製/生分解性プラスチックのストロー化
 - ・デジタルサイネージ活用
 - ・タンブラーの推奨
- ③支笏湖漁業協同組合**
- ・監視艇のEV化
 - ・湖上監視活動
- ④碧の座**
- ・ヒートポンプ
- ⑤美笛キャンプ場・ポロピナイ休憩所・丸駒温泉旅館**
- ・重油自家発電から再エネ化への検討

支笏湖ゼロカーボンパーク「支笏湖スタイル」

取組

・地域や事業者、観光客が一体となってゼロカーボンパークにふさわしい取組となるよう、再生可能エネルギーの活用やプラスチックごみの削減、ゼロカーボンや環境配慮型アクティビティの推進など、支笏湖版脱炭素シナリオとなる「支笏湖スタイル」を検討する。

《例》

事業者別	取組内容
宿泊事業者・キャンプ場	アメニティのエコ化・アメニティを部屋に置かない・施設の再生可能エネルギー化・環境に配慮したキャンプの楽しみ方の推奨
アクティビティ事業者 漁業協同組合	ゼロカーボンや環境に配慮したアクティビティの展開、清掃などの美化活動、国有林の管理(支笏湖の森)、沿岸監視活動、水中生態系保護活動
交通事業者	電気・水素車両の導入(送迎者用など)、三次交通の検討
商店街	暖房などのエコ化・ストローなどのエコ化
イベント・啓蒙・その他	支笏湖の水を活用したエコボトルの推奨・氷濤まつりなどのイベントのエコ化 責任ある観光(レスポンシブル・ツーリズム)の推進
自治振興会・コミュニティ	自治会、老人クラブによるゼロカーボンコミュニティ活動(省エネ、地域活動) 地域住民、事業者による支笏湖地域の燃料資料量調査